

## 第299回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

<p><b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b></p> <p>今日は少人数ですが、元気よくやりたいと思います</p> <p>今年は中々寒くなりませんが、温暖化のせいかとも思っています</p> <p>今日は乾式のトイレで少しやり方も変わりますが工夫しながらやっていきたいと思います</p> <p>先日は浜田掃除に学ぶ会に参加しましたが、道具も揃ってなくて益田とはちょっと違った感じでした。今日も頑張ってやりましょう</p> <p><b>2、体験感想発表</b></p> <p><b>・岡本 真太さん(浜田市・キヌヤ)</b></p> <p>今日は女子の洋式トイレを2か所しました。両方とも便座のねじが固くて取り外しに苦労しました。汚れもその接着した部分が汚れていてそこはきれいになりましたが、便器より他の部分に埃は多くて、普段の掃除のときに気を付けてやってほしいと思います</p> <p><b>・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)</b></p> <p>今日は小便器を二つ担当しました。便器はきれいでしたが返しの部分が汚れがひどく、そこはきれいになりました。下の方に黒っぽい埃が溜まったような汚れがありましたが構造的な問題かなと思いました</p> <p><b>・田村 勝則さん(益田市・日の丸)</b></p> <p>この頃めったに参加してなくて、やらなければいけないと思いながらなかなか参加できません。体のこともありますが、掃除の会で学ばなければと思います。体が続く限りやりたいと思います</p> <p><b>・渋谷 秀文さん(益田小学校校長)</b></p> <p>今日はありがとうございました。男子便器の使用できない便器を担当しました。金属の周りに黒い汚れが固まっていて、なぜこのようになるのか、これから注意して観ていきたいと思います</p>	<p><b>2、体験感想発表</b></p> <p><b>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</b></p> <p>今日は大便器を担当しましたが、水垢が取れなくて一時間磨きましたが取れませんでした。特にピンクの便器は取れにくいような気がします。諦め気分で終わりましたが、悔いが残ります。トイレ全体は臭いもなく子供さん達がしっかり掃除をされていると感じました。上級生の皆さん指導がきつといいんでしょうね。</p> <p><b>&lt;事務局より&gt;</b></p> <p>来月12月で300回という節目の時を迎えます</p> <p>株式会社キヌヤの社員で1~2年、主に公衆トイレを掃除しておりましたが広島の年次大会に参加させて頂いたのを機に平成9年3月26日に益田掃除に学ぶ会をスタートしました。</p> <p>2020年4月から2022年8月の期間、コロナの感染拡大で10か月休会し足踏みましたが、やっと12月で300回にたどり着きそうです</p> <p>年次大会も通算8度開催しております。今月の月例会までの延べの参加人数は9289名です。</p> <p>今後の活動ですが、参加者の高齢化もありますし回数のカウントは無くて、続けられる限り月度の月例会として続けたいと思います</p> <p>毎回出しております「お掃除通信」も300回で終了したいと思います</p> <p>長い間学校とのコミュニケーションは今後も引き続いて行ってきます。</p> <p>このコロナ禍でも、各小中学校の校長先生のご理解に感謝しております</p> <p>引き続き皆様にはご理解いただきましたご協力をよろしくお願ひします</p> <p>次世代への引継がなかなか難しい状況ですが、後継者を育てて次の時代に続けられればと強く念じております。</p>	<p><b>開催場所学校 益田小学校 校長 渋谷 秀文 参加者数 7名 教頭 植田 光一</b></p> <p><b>4、鶴山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b></p> <p><b>・掃除で土地入手</b></p> <p>当社は、東京の一等地、英國大使館の裏にビルを所有しております。このビルを入手できた経緯は掃除のご縁です。当時、近くのアパートに住み、仕事場にしていた私ども夫婦は、毎日、近所の掃除をしておりました。その様子を見ておられた地主さんが、感動されて、ただ同然の金額で譲って下さった土地です。</p> <p><b>・優しさと辛抱強さ</b></p> <p>人がこの世を生きていいくには、お金や知識や技術などさまざまな力が必要になりますが一番大切なのは心の力です。たとえお金があっても、技術や知識が優れていても、相手の為を思う優しい心が無ければ、それらは活かせません。人に対する優しさと苦難に対する辛抱強さという力が身に備わって初めて、全てのものが活かされます。</p> <p><b>5、森信三先生の教え</b></p> <p><b>一語千鈞より</b></p> <p>・「世の中は正直」とは、神は至公至平……というの近い・野の一輪の草花をカップにさして、そこに幽かな美の感じられないような人は、真に心の通う人とは言えないですね・すべての手持ちのものを最善に生かすことが、人間的観察の出発と言える教育ももとより例外ではない。</p> <p>・お酒は利き酒の飲み方に限り、同時にそこには、すべて物事の味を嗜みしめる秘訣がある。</p> <p>・言葉の響きは偉大である。一語一音の差に天地も分かつほどの相違がある。</p> <p>それゆえ真に言葉の味わいに徹するのは、そのままのちに徹するの謂いといってよい。</p> <p><b>6・平澤 興先生語録より</b></p> <p><b>平澤 興 一日一言より</b></p> <p>・ロダンは「ごく平凡の、他の人から見れば平凡の中に、素晴らしい美を見つけ得る人、名人というものはそういうものだ」とも言っておるのであります。今まで多くの人が見てきたものを「自分の目で」そこが大事です。</p> <p>自分の目で見る人、そして他の人には平凡であるものの中に、美を、人が驚くような美を見つけ得る人そういう人が名人だというのであります。</p>
--	---	---